

新型コロナウイルス流行の少し前、新潟を訪れる機会があった。宿は信濃川に架かる有名な万代橋のたもと。記念講演には佐渡から拉致被害者の曾我ひとみさんが招かれており、講演前後は夕食会に同席され、2次会にも参加された。

拉致問題は2002年、小泉純一郎元総理が北朝鮮に赴き一部被害者の帰国を実現させたが、

当時官房副長官だった安倍晋三現総理が積極的に動いていた印象があった。安倍総理就任時はこれで拉致問題も解決へ向かうか、と大いに期待したものであったが残念ながら「最善の努力を」と繰り返すばかり。厄介な相手ではあ

## 目 詰 ま り



草野 義輔

るが安倍総理ならそのうち、と思っていたが突然の退陣表明。うまくいかない理由は説明のないままだった。

一方、コロナ対策でPCR検査体制の脆弱ぜいじやくさが指摘されてきたが、体制の不備について安倍総理は「あちこち目詰まりが…」というが目詰まりの説明はないまま。拉致問題もコロナ対策も

安倍政権の重要な課題であつたが、結局説明不十分のままで退任となる。安倍総理も心残りとは思うが、この2点は私も残念な思いが強い。

曾我ひとみさんは被害者でなければ語れない体験話をされ、質問にも丁寧に応じてくれた。最後に「拉致は未解決。風化させないよう今後も支援を」と締めくくった。次の政権には日本国の尊厳を懸けた解決を期待したい。